

特別企画展

木島櫻谷と 京都画壇

京都 三条・大橋家コレクション

KONOSHIMA OKOKU and Kyoto Modern Artists
from OHASHI Collection

2020年 8月12日(水) → 9月22日(火・祝)

開室時間 10:00-18:00 金曜日は19:30まで(入場はそれぞれ30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

主催 京都府、京都文化博物館

後援 京都新聞

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>

当館では2016年度より、三条御倉町にある大橋家の旧蔵資料の総合的調査をおこない、古文書、絵画、工芸など多岐にわたる優れた文化財を発見し、この研究をすすめて参りました。本展ではその成果をもとに、大橋家旧蔵の木島櫻谷、谷口香嶠、猪飼嘯谷らの絵画や工芸を中心に近代京都の町人文化とその文化的意義についてご紹介いたします。

三条御倉町は、中世以降は特権的な職商人が居住するエリアとなり、江戸時代に入ると御倉町と隣接の衣棚町は、寺社や皇室の衣料を扱う千切屋一門をはじめとする太物問屋町として盛況を呈しました。大橋重助家は19世紀から現在まで三条御倉町に所在し、千切屋の西村惣左衛門家とともに幕末の苦難を乗り越えて染織業の問屋を営んできた家です。4代目の大橋松次郎は、隣接の西村惣左衛門店(現・千總)の運営に携わりながら、木島櫻谷、谷口香嶠、猪飼嘯谷、芝千秋などの作家を物心両面から支えてきました。近代の京都を代表するこれらの作家の作品をご紹介するとともに大橋家の歴史をひもといていきます。

no.	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年
1	木島櫻谷	富士図	絹本着色	一面	明治時代
2	木島櫻谷	初夏・晩秋	紙本着色	六曲一双	明治36年(1903)
3	木島櫻谷	狗児図	紙本着色	一幅	明治時代～大正時代
4	木島櫻谷	孔雀図	絹本着色	一幅	大正時代
5	木島櫻谷	富嶽図	絹本着色	一幅	大正時代
6	木島櫻谷	蓬萊瑞光	絹本着色	一幅	大正時代
7	木島櫻谷	虎図	紙本墨画	一幅	大正時代
8	木島櫻谷	秋野双鹿図	絹本着色	一幅	大正時代
9	木島櫻谷	鷹図	絹本墨画	一幅	大正時代
10	木島櫻谷	白鷺図	絹本淡彩	一幅	大正時代
11	木島櫻谷	群禽	絹本着色	一幅	大正時代
12	木島櫻谷	寒月	紙本淡彩	一幅	大正時代
13	木島櫻谷	月ヶ瀬	絹本着色	一幅	大正時代
14	木島櫻谷	夏山樵座	紙本着色	一幅	大正時代

no.	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年
15	木島櫻谷	百舌	紙本着色	一幅	大正時代
16	木島櫻谷	放牛図	紙本墨画	一幅	大正14年(1925)
17	木島櫻谷	僊客採芝図	絹本着色	一幅	大正15年(1926)
18	木島櫻谷	月下遊狸	絹本墨画	一幅	大正時代～昭和時代
19	木島櫻谷	白鷺	絹本着色	一幅	大正時代～昭和時代
20	木島櫻谷	閑適帖	絹本着色	一帖	昭和4年
21	木島櫻谷	芦江	紙本墨画	一幅	昭和時代
22	木島櫻谷	早春	紙本着色	一幅	昭和時代
23	木島櫻谷	飛瀑	紙本墨画	一幅	昭和時代
24	木島櫻谷	雪後	紙本淡彩	一幅	昭和時代
25	木島櫻谷	燕子花	紙本着色	一幅	昭和時代
26	木島櫻谷	瀑布	紙本墨画	一幅	昭和時代
27	木島櫻谷	昏秋	紙本着色	一幅	昭和時代
28	木島櫻谷	養拙帖	絹本着色	一帖	大正時代
29	猪飼 嘯谷 谷口 香嶠	舞楽図衝立	紙本着色	一基	
30	谷口 香嶠	祇園祭供の図	紙本着色	一幅	大正4年(1915)頃
31	谷口 香嶠	句意盆踊図	紙本着色	一幅	
32	谷口 香嶠	素尊得靈剣図	絹本着色	一幅	
33	谷口 香嶠	童子瞰鮎籃図	絹本着色	一幅	
34	谷口 香嶠	義経勝浦上陸図	絹本着色	一幅	
35	猪飼 嘯谷	能楽内外詣図	絹本着色	一幅	大正8年(1919)
36	猪飼 嘯谷	観音大士図	絹本金泥画	一幅	大正12年(1923)
37	猪飼 嘯谷	賀茂競馬図	絹本着色	一幅	大正12年(1923)
38	猪飼 嘯谷	内裏雛図	絹本着色	一幅	
39	猪飼 嘯谷	印地打図	絹本着色	一幅	
40	猪飼 嘯谷	頼義得清泉図	絹本着色	一幅	

no.	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年
41	画：木島櫻谷	茶呑茶碗	陶磁器	五客	
42	画：木島櫻谷	土瓶	陶磁器	一点	
43	画：木島櫻谷	火鉢	陶磁器	二対	
44	画：谷口香嶠 作：清水六兵衛	白菊図罐	陶磁器	一点	大正7年(1918)
45	画：谷口香嶠	松葉図菓子盆	漆工	一点	
46	画：谷口香嶠	酢漿草図菓子盆	漆工	一点	
47	画：谷口香嶠 作：五世吉向松月	雪景図千切形水指	陶磁器	一点	大正5年(1916)
48	画：猪飼嘯谷	四季艸花図硯箱	木工	一点	
49	画：木島櫻谷	团扇「鹿」		一点	
50	画：神坂雪佳	团扇「桔梗」		一点	
51	画：猪飼嘯谷	团扇「雀」		一点	
52	神坂祐吉	玉椿蒔絵硯箱	漆工	一点	
53	神坂祐吉	長寛写赤絵菓子盆	漆工	一式	
54	12代永楽善五郎(和全)	仁清写亀甲酒次	陶磁器	一点	
55	14代永楽善五郎(得全) 室妙全	紫交趾阿古多形火入	陶磁器	一点	
56	初代伊東陶山	鳳凰模様菓子器	陶磁器	一点	
57	初代伊東陶山	古代花鳥模様煎茶器揃	陶磁器	一式	
58	榊原文翠	牡丹図	絹本着色	一幅	
59	望月玉泉	春堤釣魚図	紙本着色	一幅	
60	幸野樸嶺	檀特山	紙本着色	一幅	
61	今尾景年	四季花鳥図扇面画帖	紙本着色	二帖	明治30年代
62	菊池 芳文	秋溪遊鹿之図	絹本着色	双幅	
63	都路 華香	蓬萊仙境	絹本着色	一幅	
64	山元 春举	山村春霽	絹本着色	一幅	
65	芝 千秋	紅白椿図屏風	紙本着色	二曲一隻	

no.	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年
66	菊池 契月	蓮池	絹本着色	一幅	
67	伊藤小坡	秋乃夜	紙本着色	一幅	
68	土田 麦僊	蔦もみじ	絹本着色	一幅	
69		三十番神像	絹本着色	一幅	江戸時代 17世紀
70	日遠	七字題目	紙本墨書	一幅	寛永13年(1636)
71	日政上人	七字題目	紙本墨書	一幅	天保15年(1844)
72		大橋家写真	ガラス/紙		
73	大橋政七	鬼子母神像	紙本墨書	一幅	
74	大橋重之助	「山頭旭日五雲隈」	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
75	京都府	表彰状	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
76	三国幽眠	「順風快帆」	紙本墨書	一面	明治10年(1877)
77	三国幽眠	「篤敬忠信」	紙本墨書	一幅	明治8年(1875)
78	三国幽眠	「和歌 山路紅葉」	紙本墨書	一幅	
79	大橋松次郎	大橋松次郎の日記	紙本墨書		明治38年(1905)
80	林忠正	大橋松次郎宛書簡	紙本墨書	一点	
81		千切花西村古図杯	漆工	一点	明治24年(1891)
82	今尾景年・宮原易安	「百事如意」	紙本着色	一幅	明治前期
83	谷口 香嶠	谷口香嶠書簡(大橋氏宛)	紙本墨書	一幅	
84	木島櫻谷	絵葉書帖(大橋松次郎宛)		二冊	明治～昭和期
85		年賀葉書帖(大橋松次郎宛)	紙本着色	一冊	明治40年(1907)～昭和12年頃(1937)
86		年賀葉書(大橋松次郎宛)			明治37年(1904)～大正7年頃(1918)
87	芝千秋	千秋帖(大橋松次郎宛)	紙本墨画	一冊	大正9年(1920)～昭和27年(1952)

◎所蔵はすべて、京都府蔵（京都文化博物館管理）

◎都合により出品資料を変更する場合があります